

あいの保育園外構工事

G-01	外構工事特記仕様書（１）
G-02	外構工事特記仕様書（２）
G-03	工事概要・付近見取図・工事ステップ図
G-04	仮設計画図
G-05	現況・解体図
G-06	外構配置図（１）（雨水排水計画図）
G-07	外構配置図（２）（舗装計画図）
G-08	外構配置図（３）（縁石・フェンス計画図）
G-09	外構配置図（４）（遊具・施設計画図）
G-10	外構詳細図（１）
G-11	外構詳細図（２）
G-12	外構詳細図（３）
G-13	外構詳細図（４）
G-14	外構詳細図（乗り入れスロープ）
G-15	写真表
E-01	電気設備工事特記仕様書
E-02	電気設備機材指定表
E-03	電気設備 施設計画図
M-01	機械設備図

特記仕様書（建築工事編）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

舗装工事	路床	路床の材料 (22. 2. 2、3、5) (表22. 2. 1)	・ブロック系舗装	舗装の種類、寸法、厚さ、備考	・屋上緑化	植栽基盤及び材料
	路盤	路盤の厚さ、路盤材料	・砂利敷き	種別、A種、B種		・屋上緑化システム
	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ、材料及び種類、加熱アスファルト混合物等の種類	路面標示用塗料	JAS K 5665 (路面標示用塗料) による		土壌層の厚さ、排水層、植込み用土、樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
	コンクリート舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ	植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験、電気伝導度 (EC) の試験		工法
	カラー舗装	カラー舗装の構成及び厚さ	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備		1 章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
	透水性アスファルト舗装	透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ	・植込み用土	※現場発生土の良質土		支柱・設置する (形式・図示)
			・土壌改良材	種別及び指定量等		かん水装置・設置する (種類、工事区分・図示)
			・樹木	樹種、寸法、株立数等		
			・支柱	支柱材、防腐処理方法、形式		
			・幹巻き用材料	※幹巻き用テープ		
		芝	種類、芝張りの工法			
		吹付けは種	種子の種類、発芽率、種子の量			
		地被類	樹種、コンテナ径、単位面積あたりのコンテナ数、芽立数			
		新植樹木、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置	新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間、移植樹木の枯損処置を行う期間			

特記仕様書 (建築工事編)		令和4年度版		高知県土木部建築課	
株式会社 若竹まちづくり研究所	G-02				
開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号	令和8年7月				
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号					
あいの保育園外構工事					
令和5年7月改正					

- 【あいの保育園外構工事】
- [工事概要]
- ・ R8.4月に竣工したあいの保育園の外構工事
 - ・ 外構工事(雨水排水、舗装、縁石、フェンス、遊具、進入路新設等)
 - ・ 既存部分解体工事(舗装、フェンス、植栽等)
 - ・ 屋外照明設置工事
 - ・ 屋外給排水設備工事(手洗い・足洗い)
 - ・ 上記に伴う仮設工事
 - ・ 新園舎・旧園舎解体工事で設置した進入路、仮囲いの撤去

[工事共通特記事項]

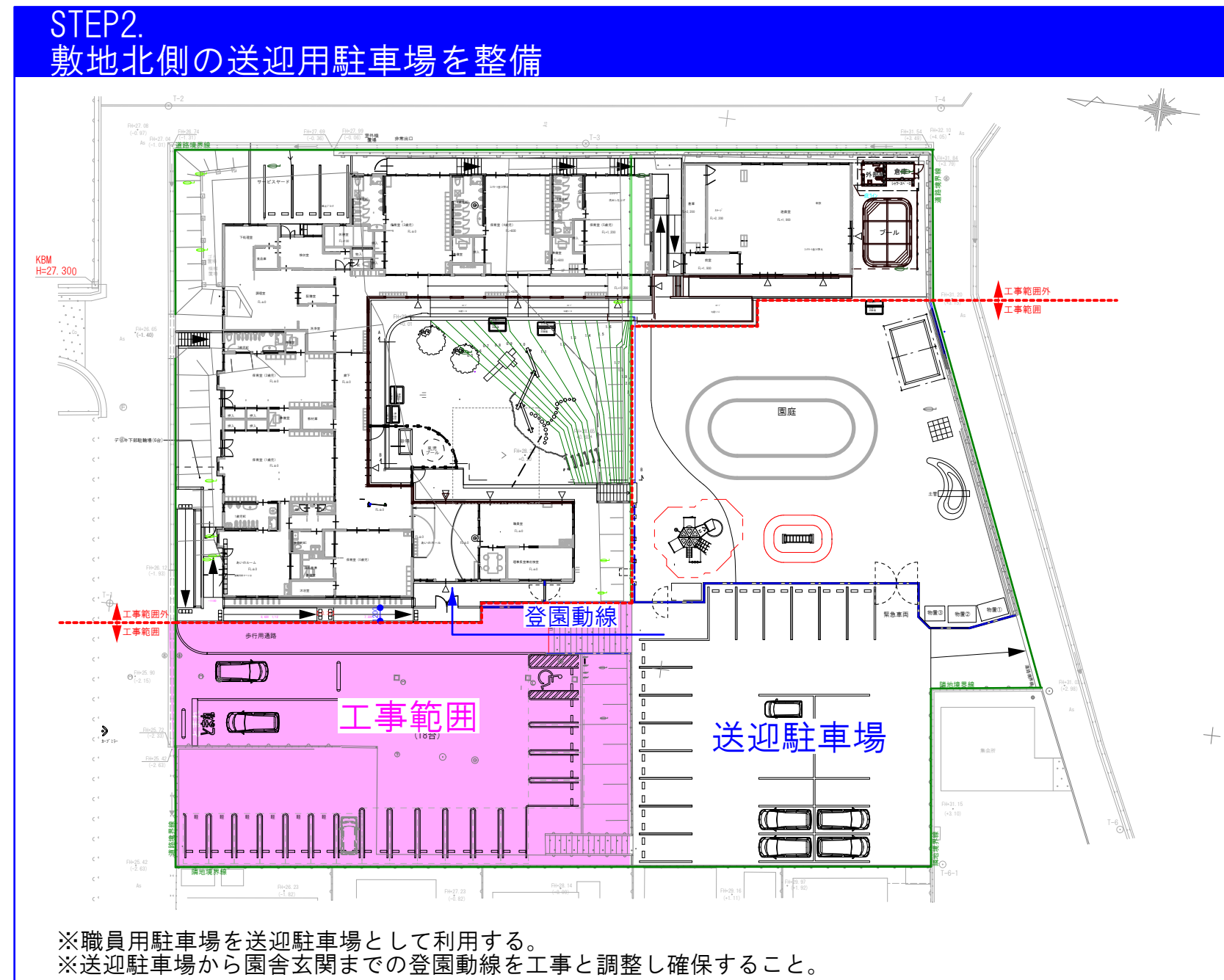
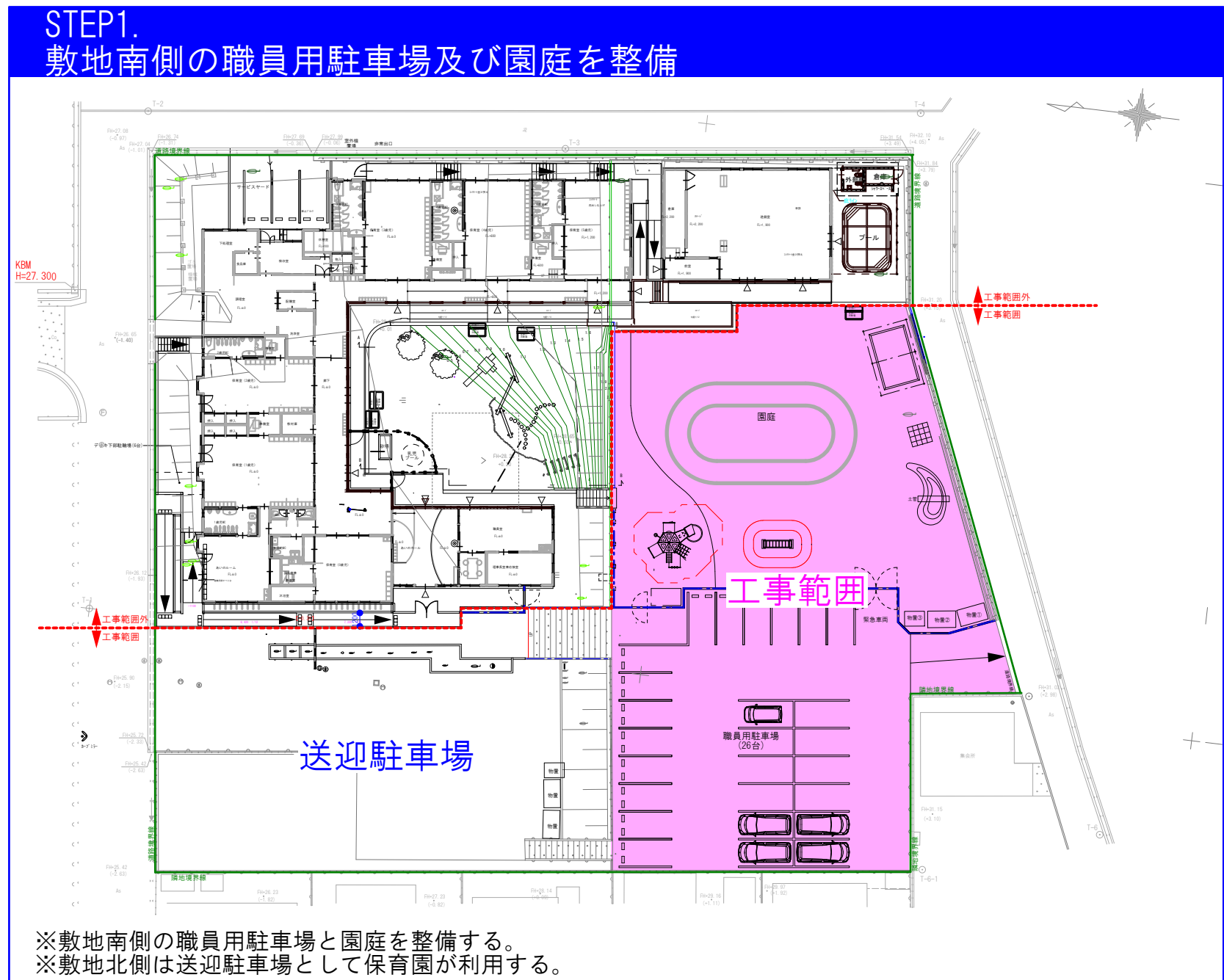
※仮囲いの範囲、資材置場、工事車両駐車場については事前に協議する事。
※資機材の搬入出については、できる限り園児のいない期間に行い、園関係者及び監督職員と事前に 協議する事。
※既存部分を破損又は損傷した場合は、施工者の責任において原形復旧すること。
※ハツリ工事、アンカー打設等の騒音が予想される工事については昼寝時間中の施工を避ける等の配慮すること。
※仮設計画、施工計画、その他必要事項については園関係者及び監督職員と打合せを行う。
※園児の動線や解体時の防塵対策には充分に配慮する事。
※関連する工事業者と十分に打合せを行うこと。

[解体工事特記事項]

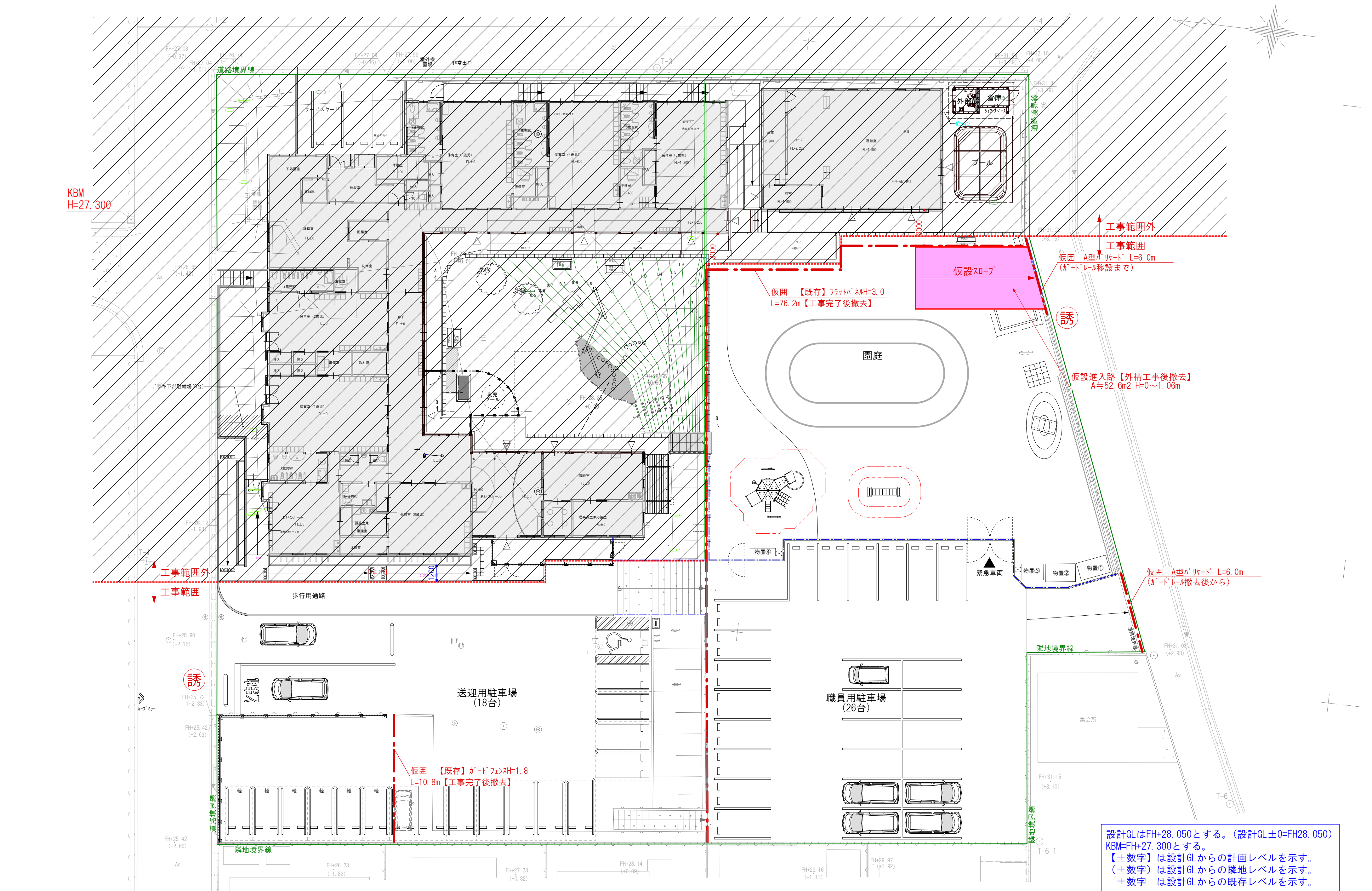
※原則として「解体」又は「撤去」と図示されたもの以外は撤去しない。
※図面に図示されていないものの撤去は、監督職員と協議の上決定する。



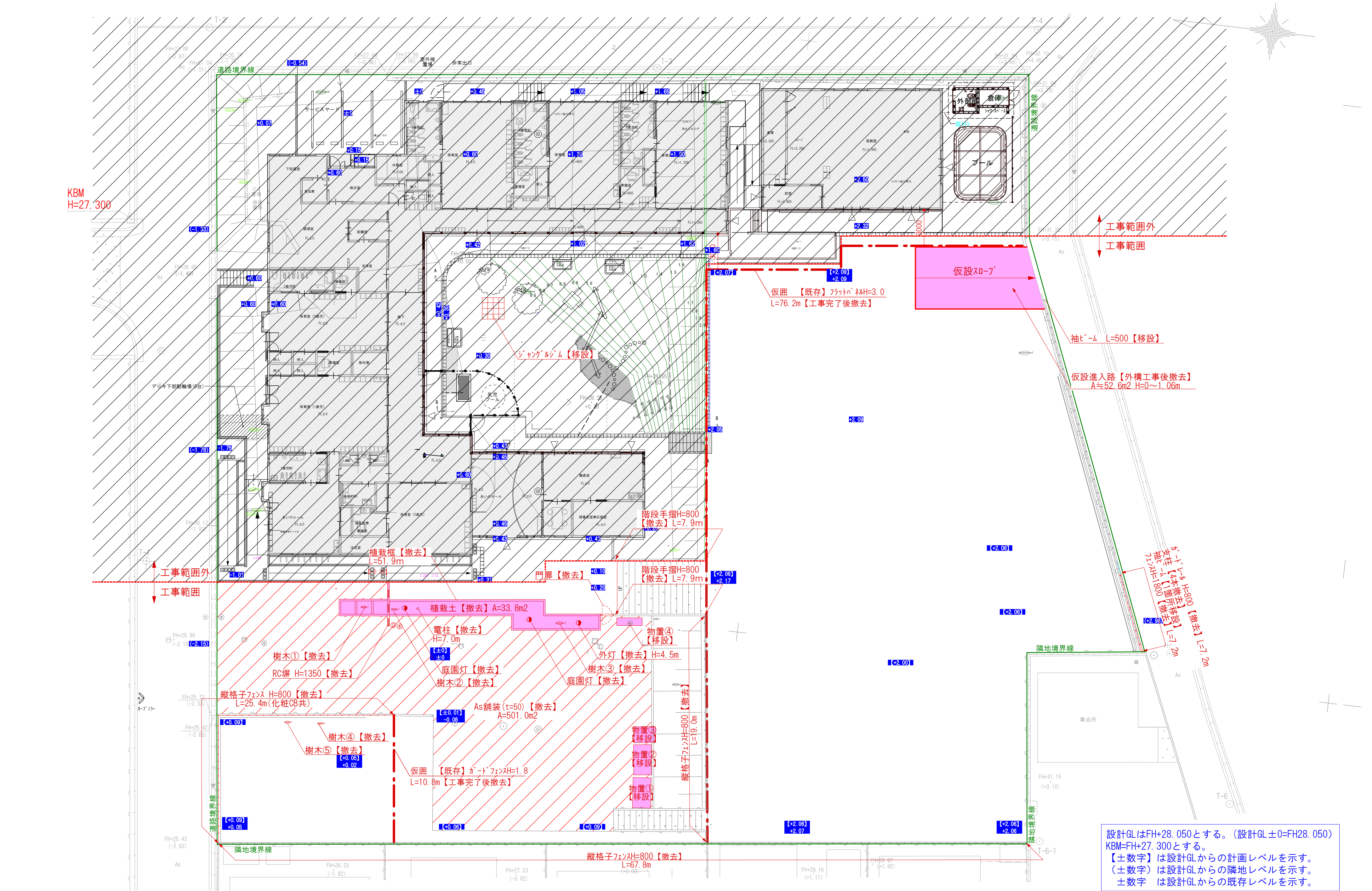
付近見取図



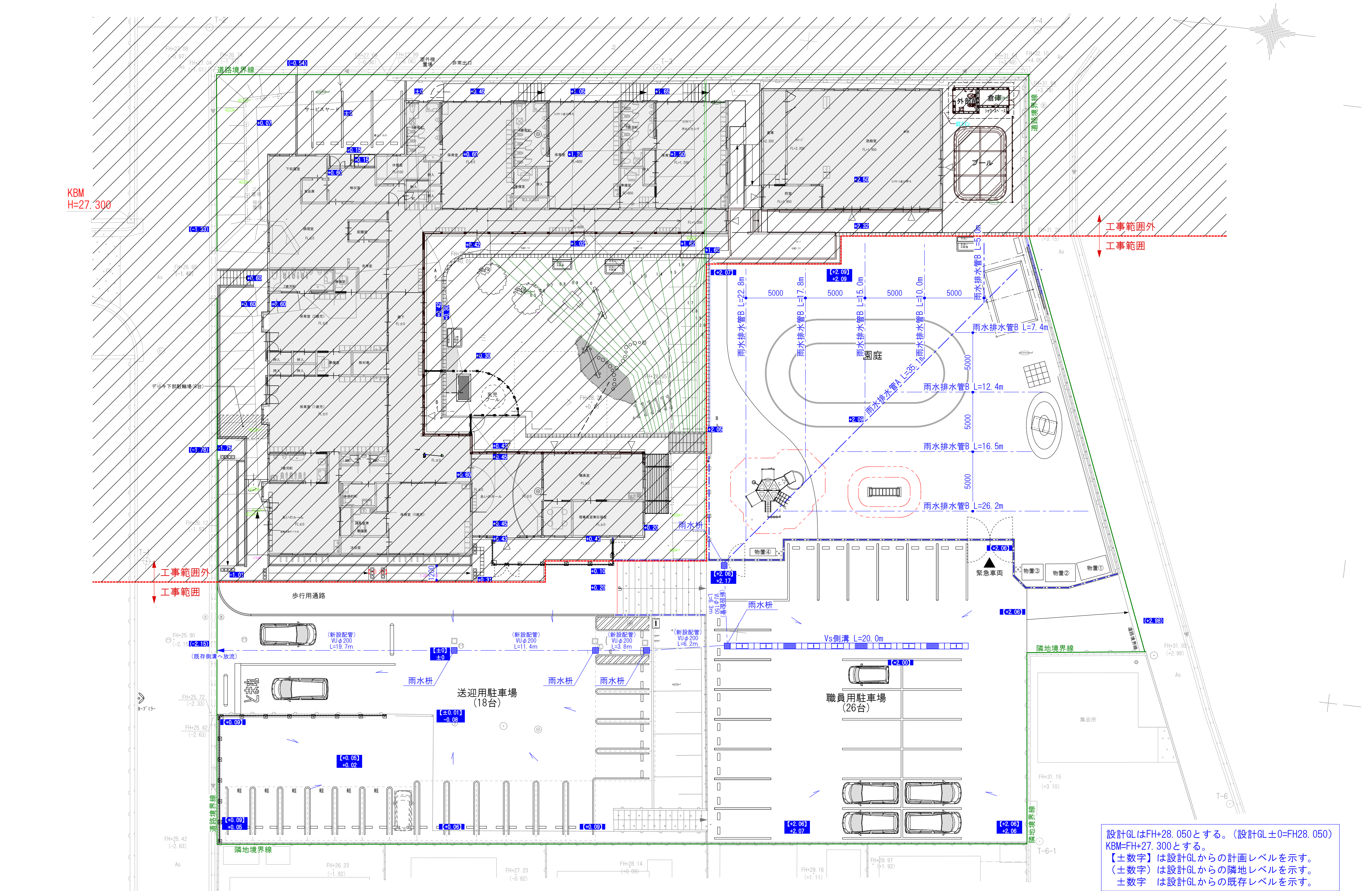
工事名称	あいの保育園外構工事	Draw	Check	作成年月日 2026/8/1	図面番号
	図面名称 工事概要書・付近見取図・工事ステップ図			縮尺 図示	
				株式会社 若竹まちづくり研究所	G-03
				開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	



※旧園舎解体工事(別契約)で、フラットバ&及びガートフェンスを設置している。 全損(買取)としているため、外構工事完了後に撤去処分すること。 ※交通誘導員は、合計30人・日を見込んでいる。(実数精算とする)	工事名称	あいの保育園外構工事		Draw	Check	作成年月日 2026/08/05	株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-04
	図面名称	仮設計画図				縮 尺 S=1:200		

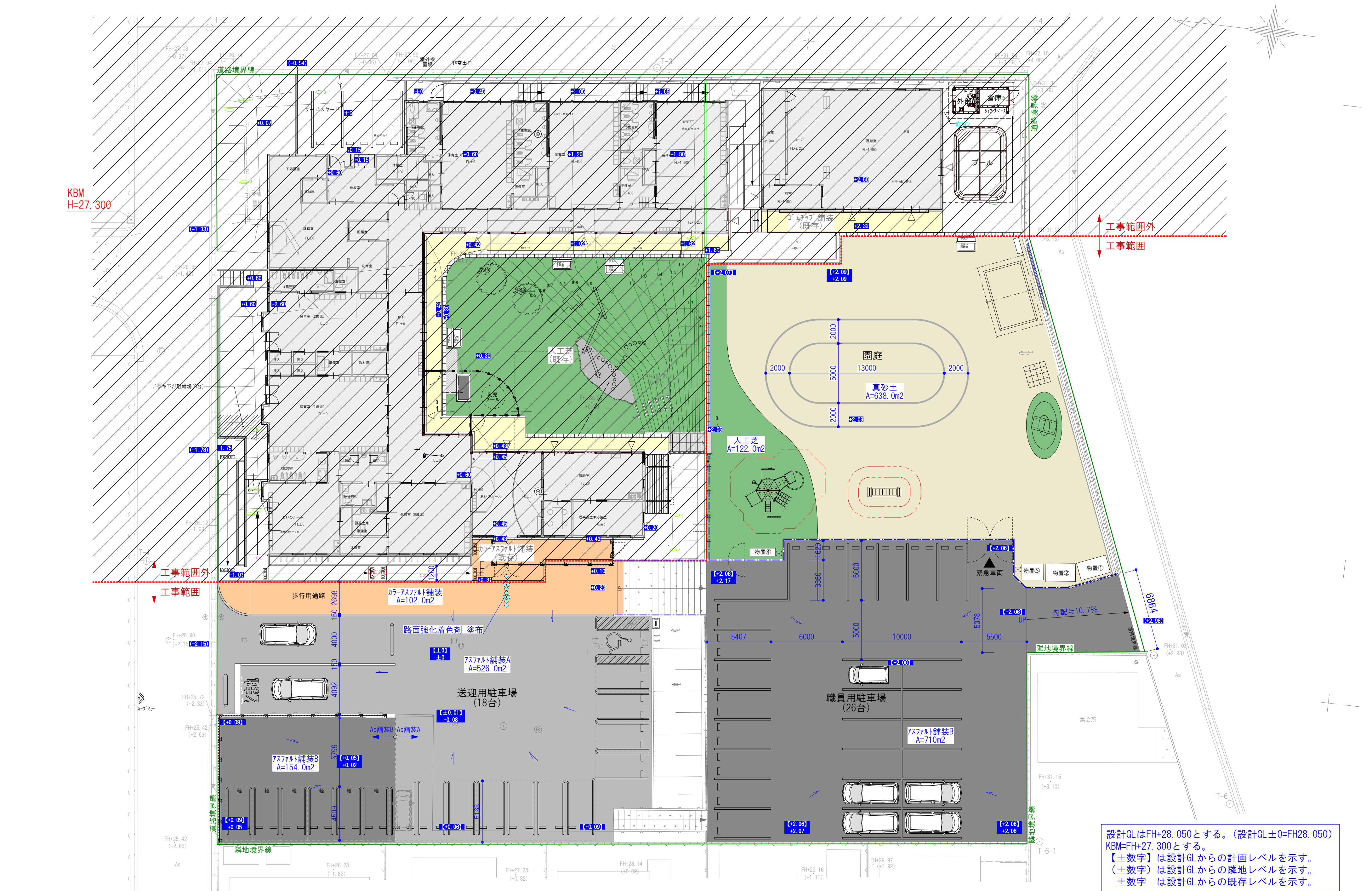


※旧園舎解体工事(別契約)で、フラットハル及びガードフェンスを設置している。 全損(買取)としているため、外構工事完了後に撤去処分すること。	工事名称	あいの保育園外構工事		Draw	Check	作成年月日 2026/08/05	株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-05
	図面名称	現況・撤去図				縮 尺 S=1:200		



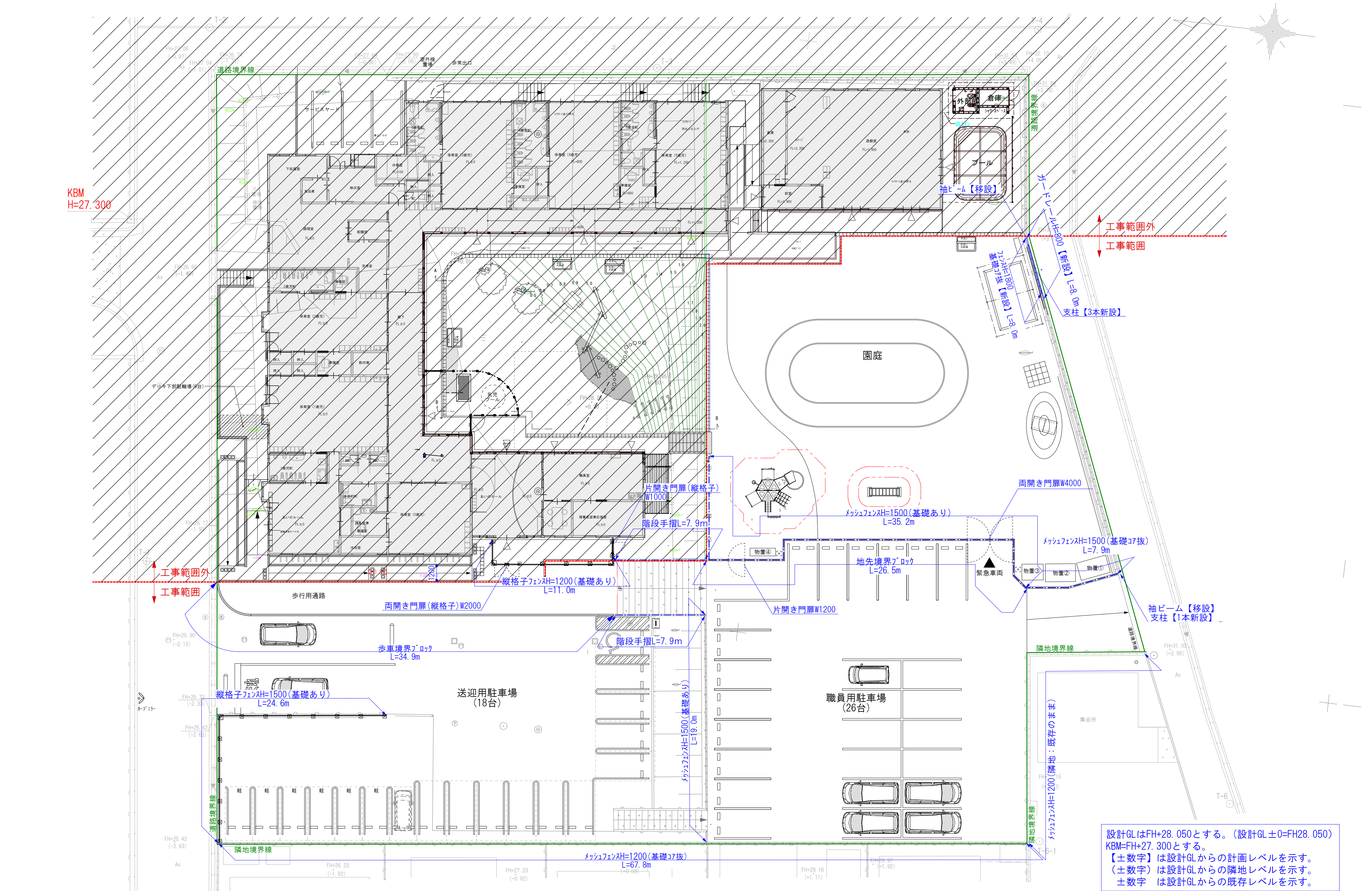
設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0=FH28.050)
KBM=FM+27.300とする。
【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。
(±数字)は設計GLからの隣地レベルを示す。
±数字は設計GLからの既存レベルを示す。

工事名称 図面名称	あいの保育園外構工事 雨水排水計画図	Draw	Check	作成年月日 2026/08/05	 株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-06
				縮尺 S=1:200		



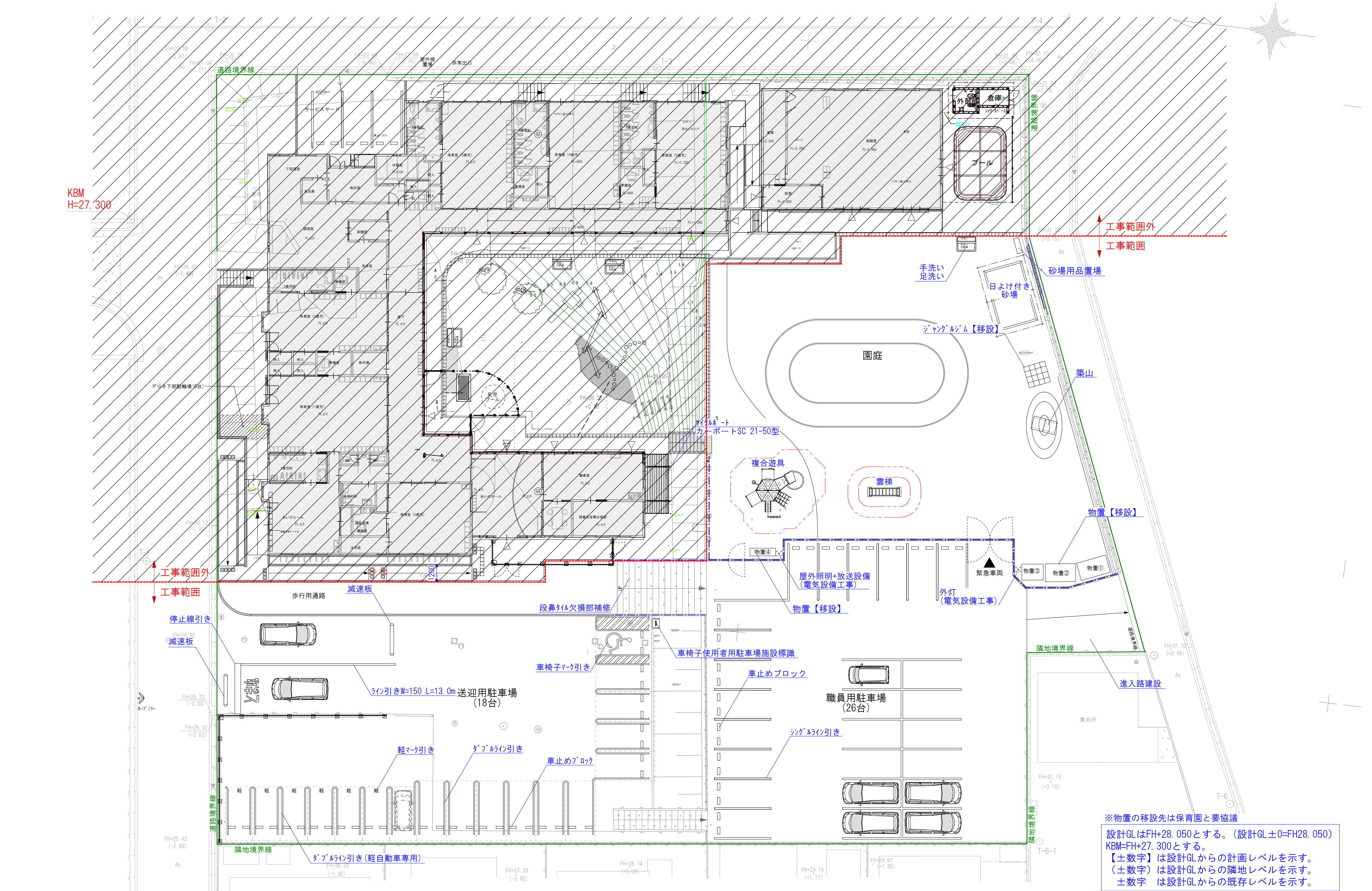
設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0=FH28.050)
KBM=FH+27.300とする。
【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。
(±数字)は設計GLからの隣地レベルを示す。
±数字は設計GLからの既存レベルを示す。

工事名称 図面名称	あいの保育園外構工事 舗装計画図	Draw	Check	作成年月日 2026/08/05	 株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-07
				縮 尺 S=1:200		

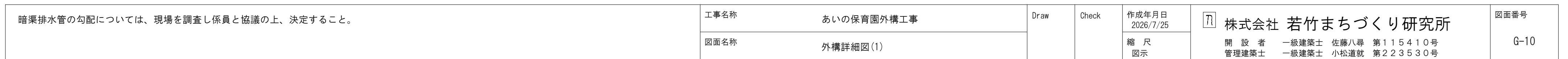
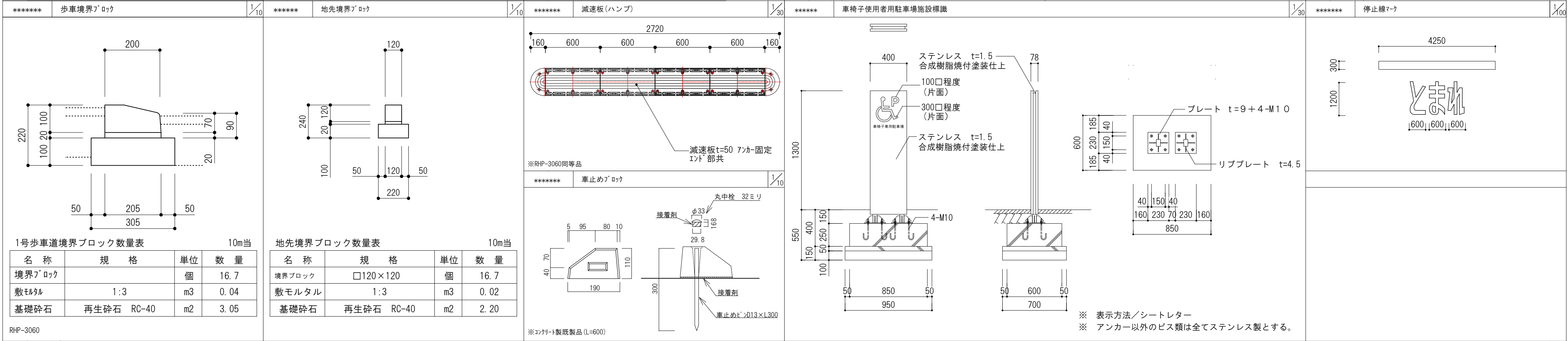


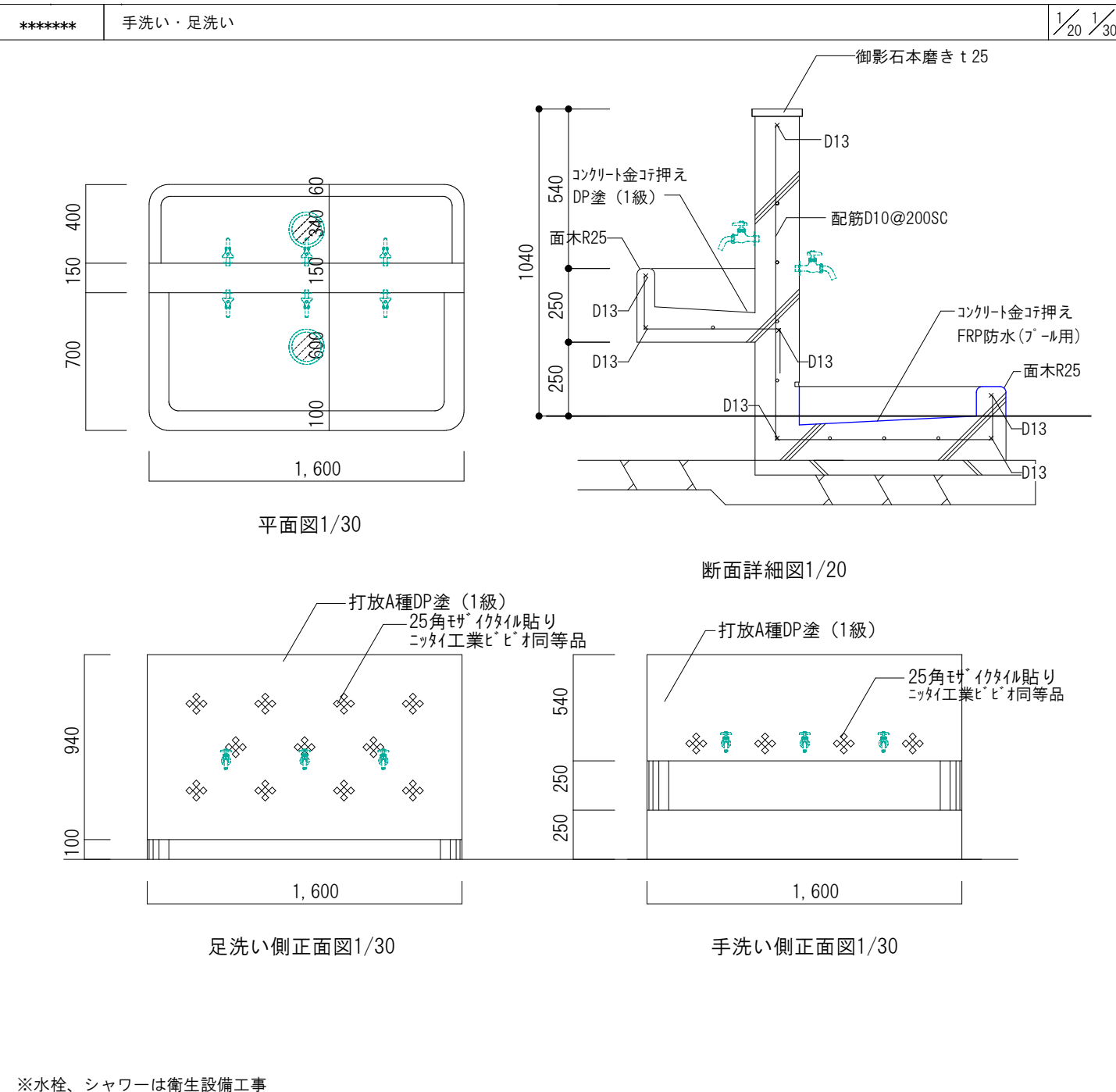
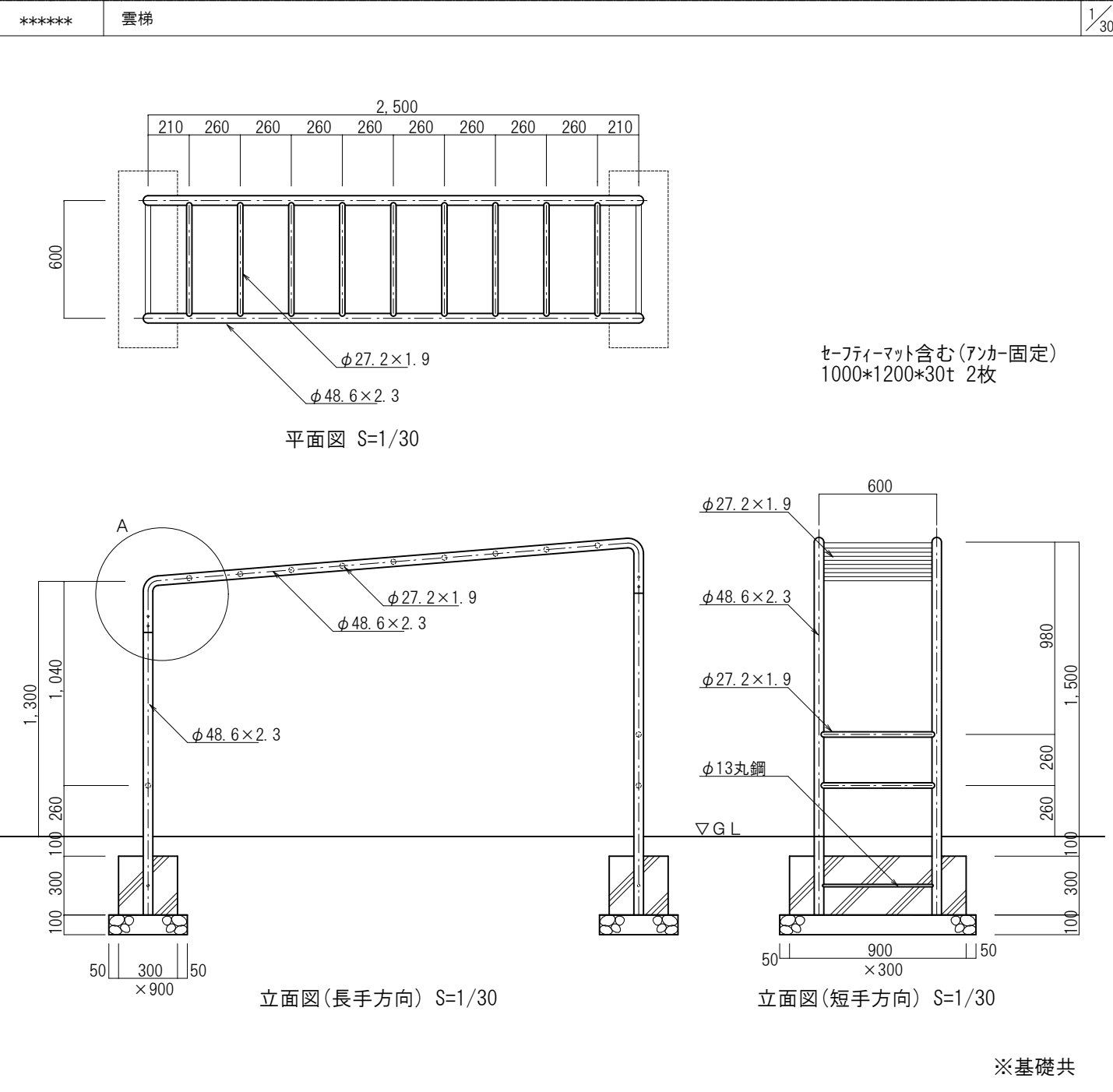
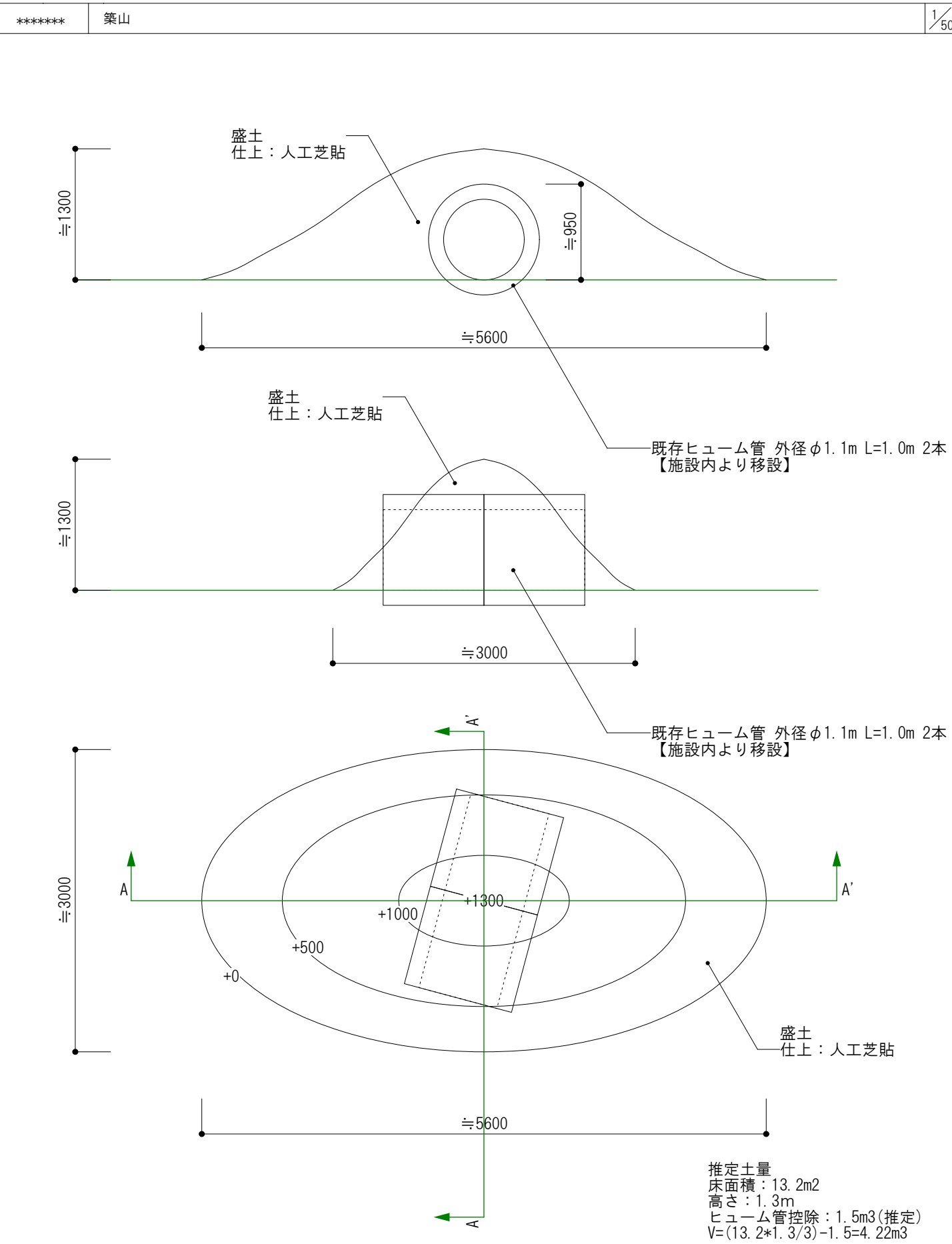
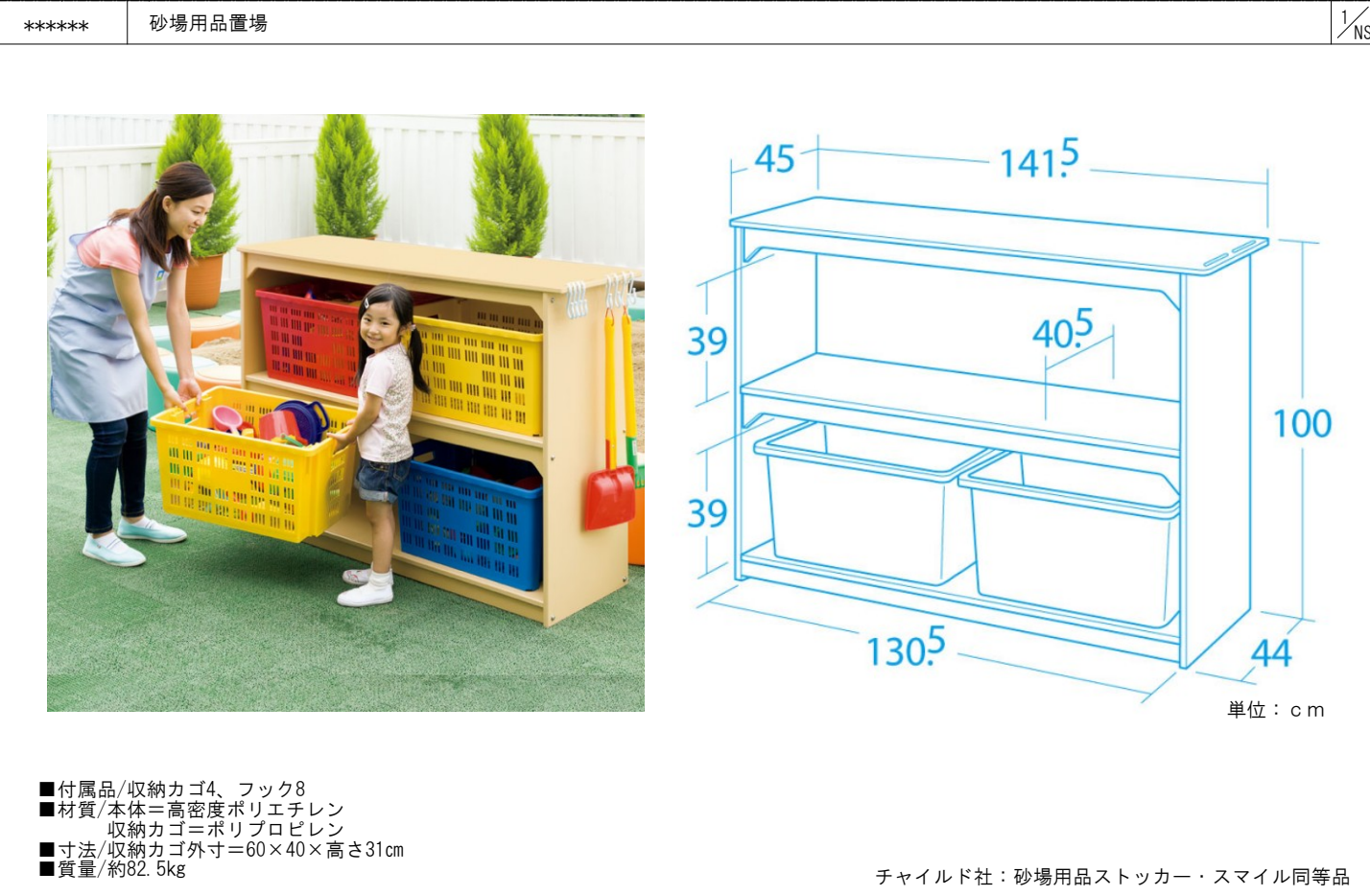
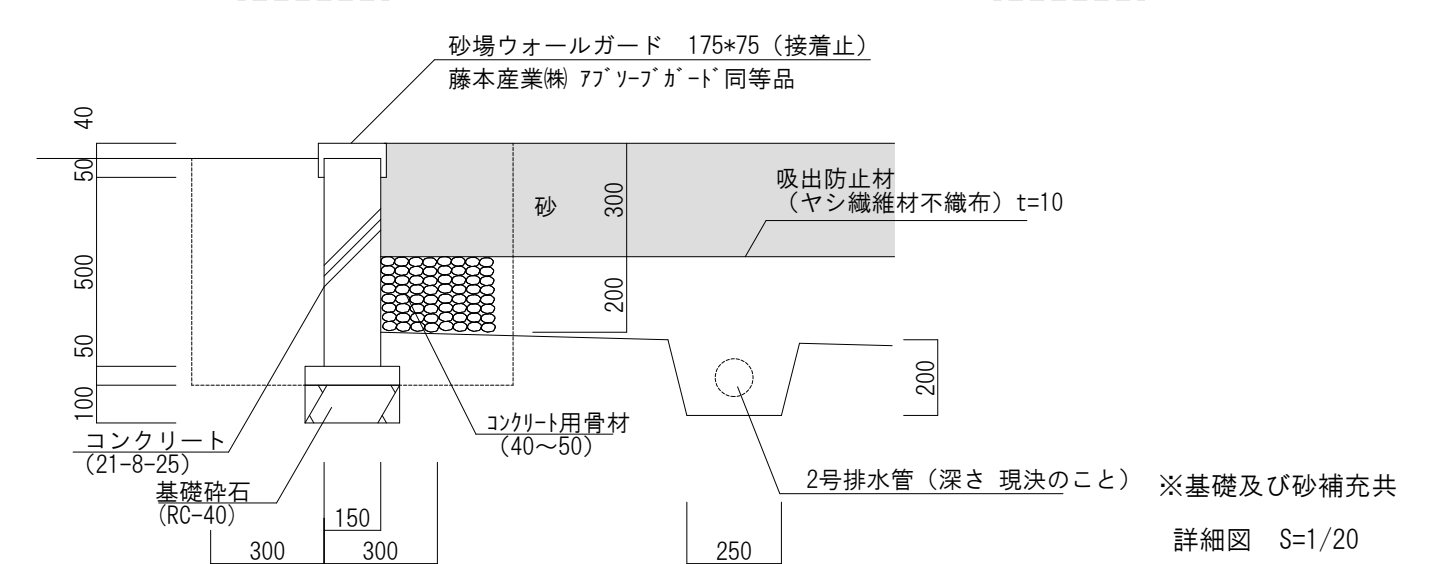
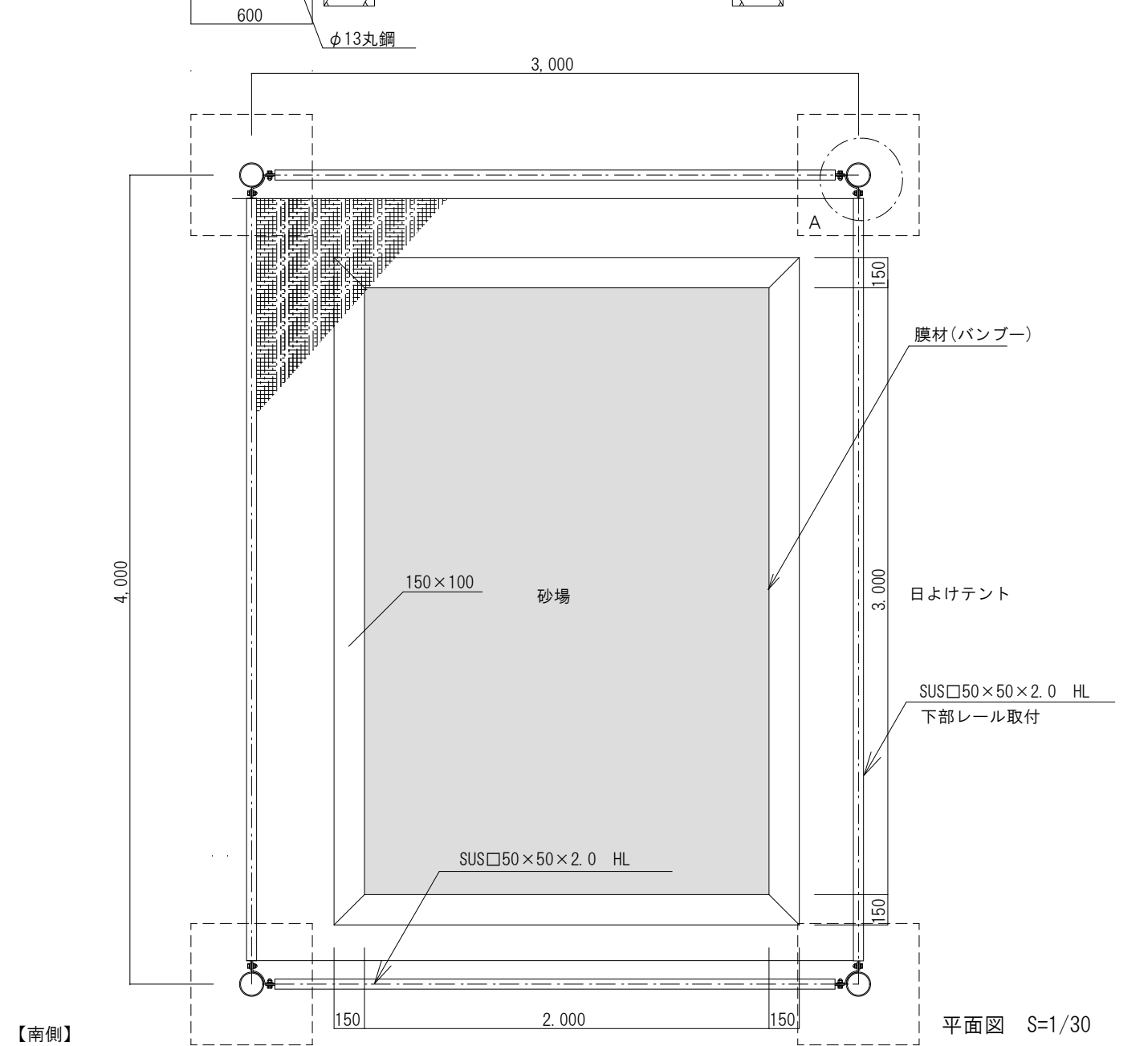
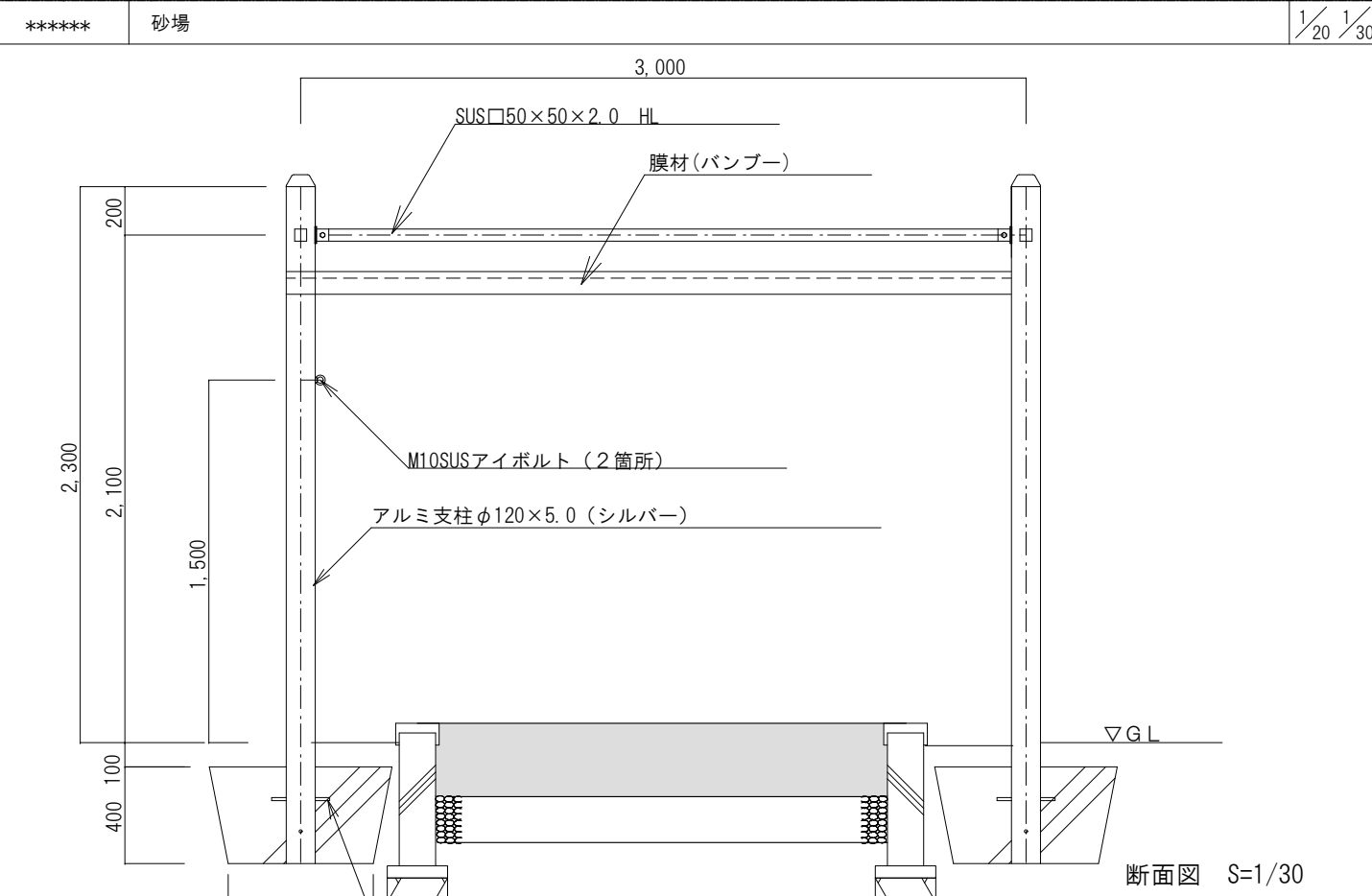
設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0= FH28.050)
KBM= FH+27.300とする。
【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。
(±数字)は設計GLからの隣地レベルを示す。
±数字は設計GLからの既存レベルを示す。

工事名称 図面名称	あいの保育園外構工事	Draw	Check	作成年月日 2026/08/05	 株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-08
	緑石・フェンス計画図			縮尺 S=1:200		

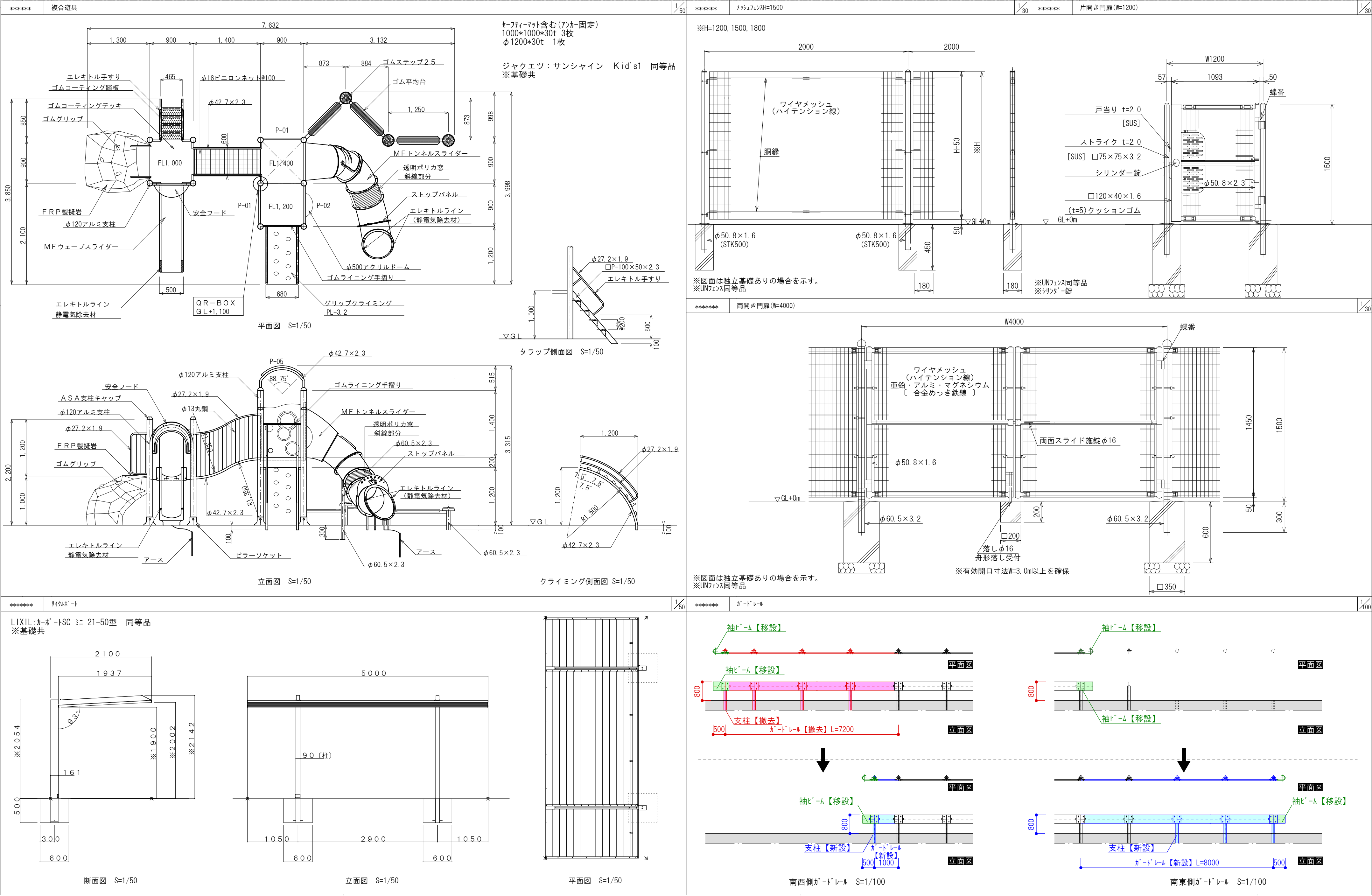


	工事名称	あいの保育園外構工事	Draw	Check	作成年月日		株式会社 若竹まづくり研究所	図面番号
	図面名称	施設計画図			2026/08/05			
					縮 尺		開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	G-09
					S=1:200			

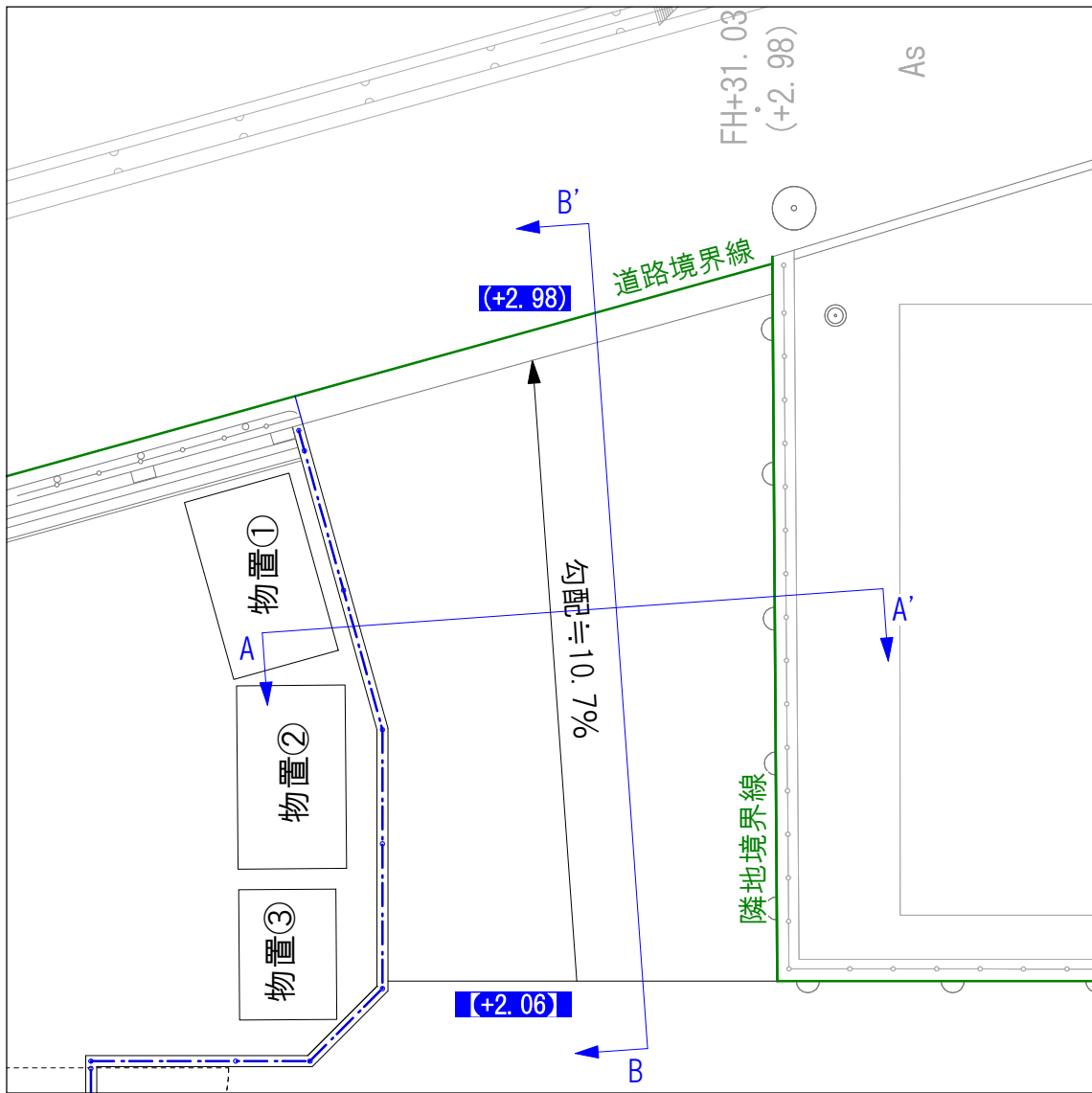




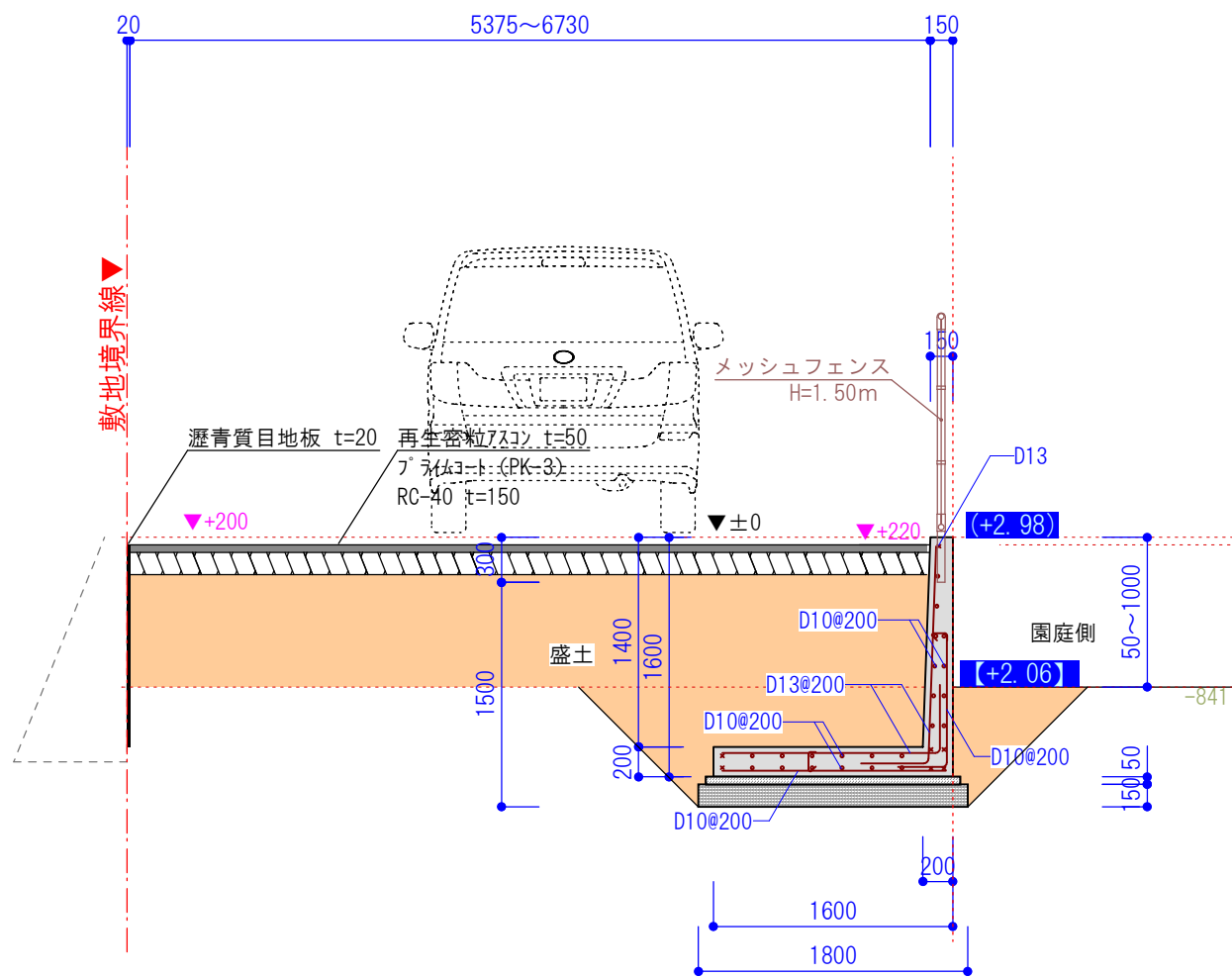
工事名称	あいの保育園外構工事	Draw	Check	作成年月日 2026/7/25	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
図面名称	外構詳細図(2)			縮尺 図示	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松達就 第223530号	G-11



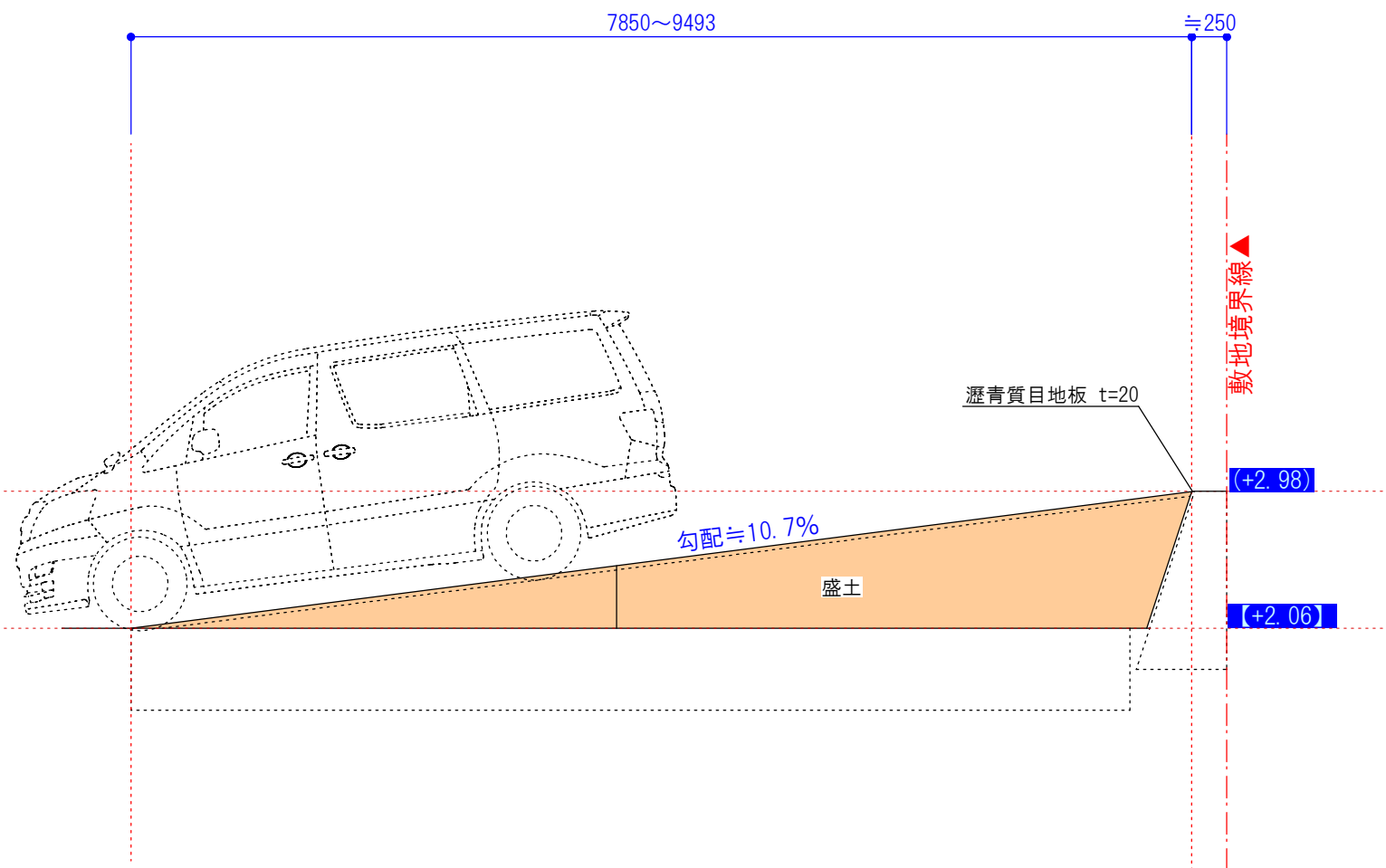
- (1) 使用材料は、次による
ア コンクリートは、普通コンクリートとし、設計基準強度は210kgf/cm² (21N/mm²)とし、スラブは、18cmとする。ただし、捨てコンクリートはFc-18-15-20とする。
イ 鉄筋は、異形鉄筋とし、SD 295 (JIS規格品)とする。
(2) 水抜き穴の設置箇所及び材質は、擁壁前面埋戻し面より300mm上がりの位置とし、水平間隔1.5m程度に径75mmの塩化ビニル管を設ける。また、裏面に透水マットを設ける。
(3) 伸縮目地の間隔は、15m程度とし、中間には収縮目地を設ける。伸縮目地は、成形伸縮目地とし、材質及び寸法は特記による。特記のない場合には、目地幅は15mm程度とする。
(4) 裏込め石は、切込み砕石 (クラッシャーラン)、切込み砂利又は再生クラッシャーランを使用する。厚さは、300mm程度とし、擁壁上部の地表面下-500mmより水抜き穴縁下-100mmの間の全面に設ける。
(5) 地業の種類は、砂利厚150mmの上に捨てコンクリート厚50mmとする。
(6) 幅止め筋は、D10とし、擁壁長さ方向に1000mm間隔程度で設ける。
(7) 擁壁の基礎床版上面の位置は、前面埋戻し面より150mm以深とする。また、前面に側溝がある場合は、側溝低面以深とする。
(8) 記載のない事項については、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書」による。
※擁壁背面土盛土は礫質土を使用する



平面図 S=1/100

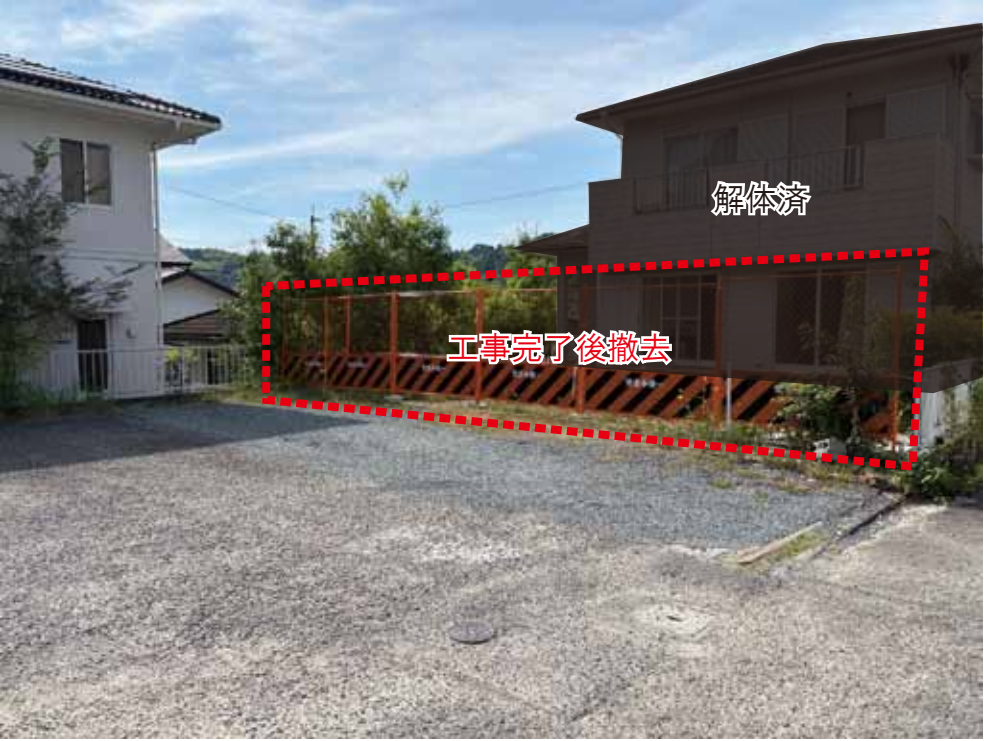
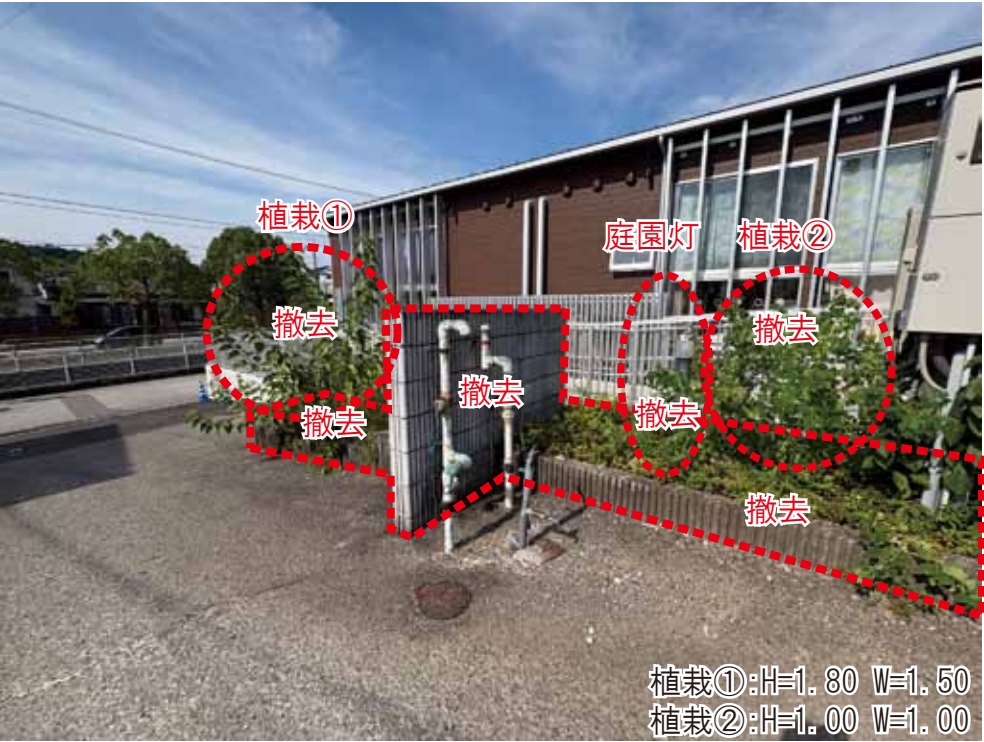
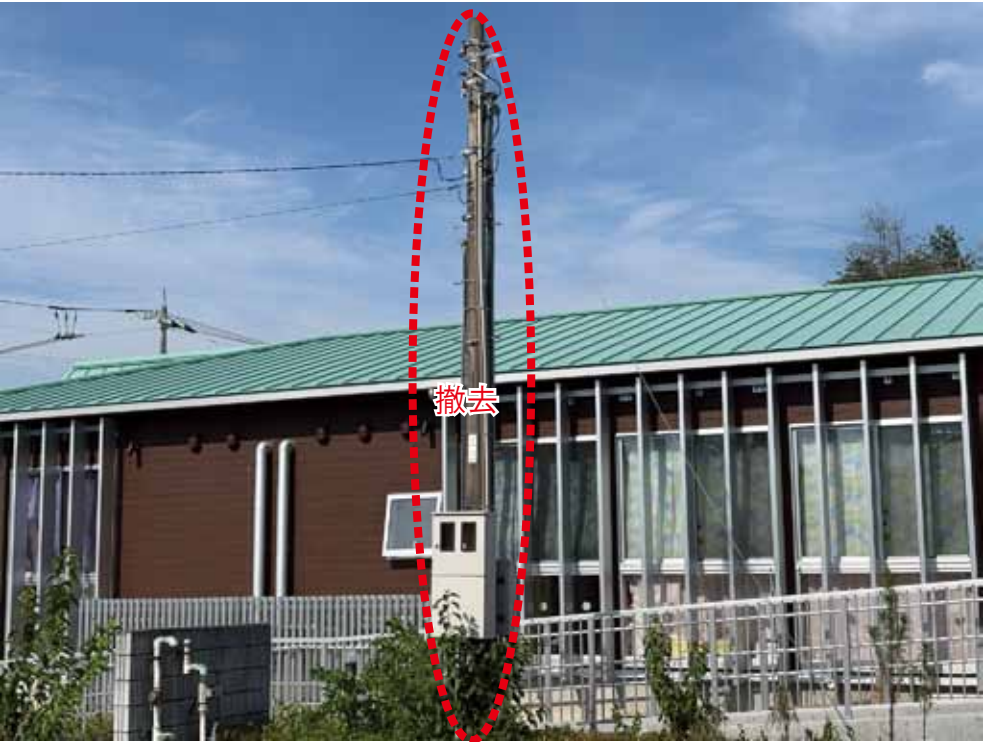
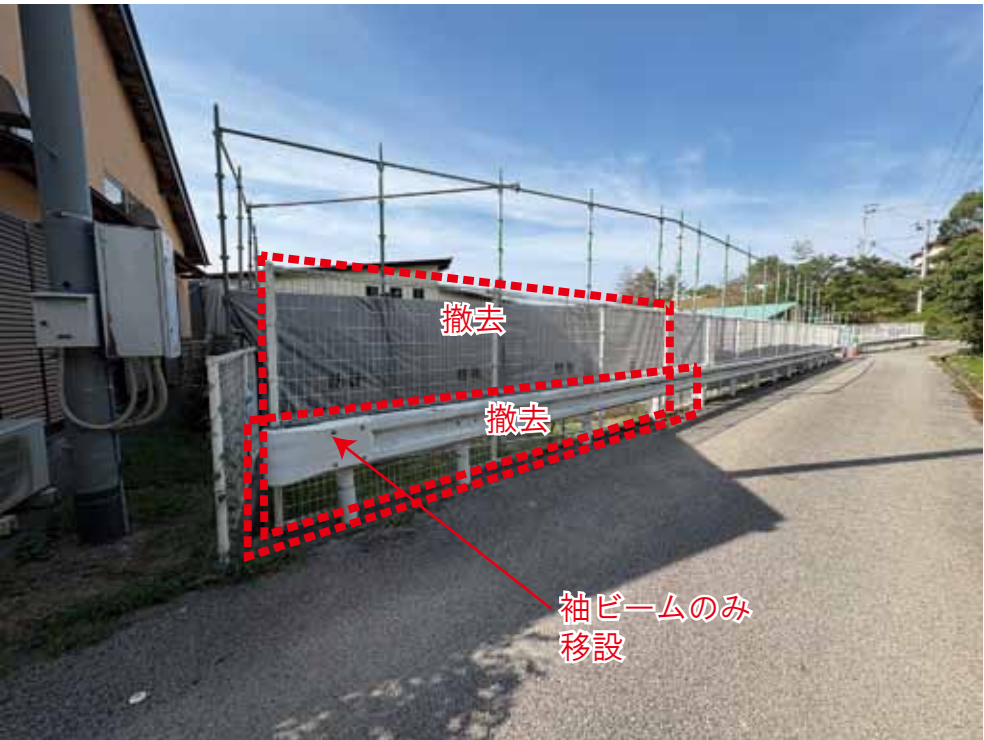


A-A' 断面図 S=1/50



B-B' 断面図 S=1/50

工事名称 あいの保育園外構工事	図面名称 車両進入路詳細図	Draw	Check	作成年月日 2026/9/1	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-14
				縮尺 S=1/50, 100		

フラットパネルH=3.0  L=76.2m RC塀 H=1350、植栽框、植栽土、植栽①・②	ガードフェンスH=1.8  L=10.8m (1800*1800:6枚) 電柱	仮設進入路  A≒52.6m2 H=0～1.06m 植栽③、外灯、門扉、物置④	縦格子フェンスH=800、植栽④・⑤  L=25.4m 化粧CB (W390*H190*t120) 共撤去 階段手摺H=800
 RC塀H=1350, L=3600, D=150 植栽框 L=51.9m D150xH400 植栽土 A=33.8m2 t=300 縦格子フェンスH=800	 H=7.0m ※電線切断済 ガードレール、袖ビーム、支柱、メッシュフェンスH=1800	 外灯: H=4.5m※電線切断済 門扉: W1000*H800 物置④: 基礎CB共 物置①、②、③	 L=7.9m 2箇所 ジャンクルジム
 L=67.8m (※化粧CBは撤去しない) ※隣家の樹木枝を切断しないように注意すること。	 ガードレールH=800 L=7.2m メッシュフェンス H=1800 L=7.2m 支柱 4本	 ※基礎CB共	 セーファーマット含む(アンカー固定) 900*1800*30t 6枚

特記	工事名称	あいの保育園外構工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称	写真表			2026/ 8/ 1		
					縮尺	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	G-15

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 高知県吾川郡いの町天王南1丁目1-1、1-7、1-8

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
外構	—	—	m ²	—
		階建	m ²	
		階建	m ²	
		階建	m ²	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外工事種目	屋内	屋外				
電灯設備						
幹線動力設備						
受変電設備						
自家発電設備						
非常照明設備						
電話・情報配管設備						
インターホン設備						
テレビ共聴設備						
トイレ呼出表示						
放送設備		○				
誘導灯設備						
自動火災報知設備						
電気時計設備						
外灯設備		○				
構内線路		○				

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版）及び電気設備工事標準図（令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ○ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できない ○ できない 次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業) アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ※構外搬出 搬出先の名称 () 所在地 () 運搬距離 () km その他 搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積 高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。 はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 照明器具、幹線の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む) ※別途工事 ・ 本工事 屋外の変電電設備基礎 ※本工事 ・ 別途工事 動力機器（電動機など）への接続 ※本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

⑧ 電線類

- 9 呼び線
10 フラッシュプレート の材質
11 かんプレート の用途別表示
12 接地極

13 埋設表示

- 14 再使用機器
15 絶縁抵抗の測定
⑮ 補修など
⑰ 屋上・屋側の支持金物
18 結露防止
⑱ はつり・非破壊検査

20 天井仕上区分

21 配線器具

⑳ LED照明器具

㉑ 照明器具の接地

24 照明器具用位置ボックス

25 一般照明器具の照度測定

26 非常用照明器具の照度測定

27 分電盤分岐回路

28 テレビ共同受信設備

㉒ 構内埋設線路

30 執務並行改修の単価の適用

㉓ 耐震施工

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
耐火ケーブル (FP) 及び耐熱ケーブル (HP) はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
・ 樹脂製 ・ 新金属 ・ ステンレス
シール等を貼付する。
下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
共 同 接 地	E A E D	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
B 種	E B	150/Is Ω Is=1線地絡電流	E B (14φ) x 3連ー2組
D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) x 1
C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
避 雷 用	E L	10Ω以下	E P x 1
高 圧 避 雷 用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) x3 連ー2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製
上記以外の接地極及び地中配線の表示 100φ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。
取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうち取付を行う。
工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。
工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
ステンレス製とする。（装柱金物は除く）

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。
はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは担当監督職員の立会により確認すること。
（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。
タンブラスイッチは大型型連用形とする。
壁付コンセントは原則として大型型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。
単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。
グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。
ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。
ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。
測定箇所については監督職員と協議を行う事。
設置した各部屋2箇所以上
分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50A Fの1Pサイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・ 双方方向型
電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要
埋設深さ 特記なきはG Lー 600 以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。
地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。
本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。
設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。
1) 設計用水平地震力

機器の重量〔N〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】		・ 特定の施設		○ 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 塔屋及び屋上	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類（※1）	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地下及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2. 0とする。

【備考】（※1）水槽類には燃料小出タンクを含む。

注：上層階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階
13階建以上の場合は上層4階

重要機器（ ・ 自立配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ）
（ ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機 ）
（ ・ 中央監視制御装置 ・ ・ ）

2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉔ コンクリート工事／骨材

33 ハンドホール

㉕ 工事・完成写真

㉖ 工事完成図

36 石綿含有建材の調査

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。
写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版）」による。

区分	提出形式	備考
工事写真	A 4版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	A 4版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。
A 4版 黒表紙金文字製本 1部 ※要 ・ 不要
A 3版 2ツ折り製本 1部 ※要 ・ 不要
C A Dデータ C DーR ※要 ・ 不要
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
事前調査は書面調査、現地調査にて行う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を行うか監督職員と協議を行う。
石綿含有建材の設計時調査（情報提供） ・ 有 ・ 無

37 機器取付高	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）				
名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床下～中心	800
” （路場）	”	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
” （鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床下～下端	300
避難口誘導灯	床下～下端	1,500以上	接地用端子箱	床下～下端	500
廊下通路誘導灯	床下～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床下～中心	(天井高) x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床下～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	”	900
スイッチ、インターホン機（身体障害者用）	”	1,100	復帰ボタン（ ” ）	”	1,800
コンセント、電話用7φドレツト、直列ユニット（一般）	”	300	廊下表示灯（ ” ）	”	2,000
” （和室）	”	150	テレビ機器収容箱	”	1,800
” （台所）	台上下～中心	150	火報受信機（複合盤）	床下～操作部	800～1,500
コンセント（ガス漏れ検知器 (LPガス)）	床下～中心	200	火報総合盤	床下～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	”	1,500 (上端1,900以下)	コンセント（車庫）	床下～中心	800
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）	”	1,500	ガス漏れ検知器（L Pガス）	床下～警報器上端	300
インターホン、副受信機			” （都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200
			引込開閉器箱（低圧）	床下～上端	2,000

備考 (天井高) x0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

38 室内空気汚染
(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板,木質系フローリング 構造用パネル,集成材 単板積層材,M D F パーティクルボード,ユリア樹脂板 壁紙,緩衝材,断熱材 保温材,仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エテルペンゲンを含有していない水性系のものである。
③ 木材保存剤 (防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤,木工用接着剤 配管用接着剤,接合剤	1)ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有していないものである。 2)フタル酸ジ- <i>n</i> -ブチル,フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものである。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	(①②③④)の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。)

室内に関わる材料(上記①～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼン,フタル酸ジ-*n*-ブチル,フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル,クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

あいの保育園外構工事

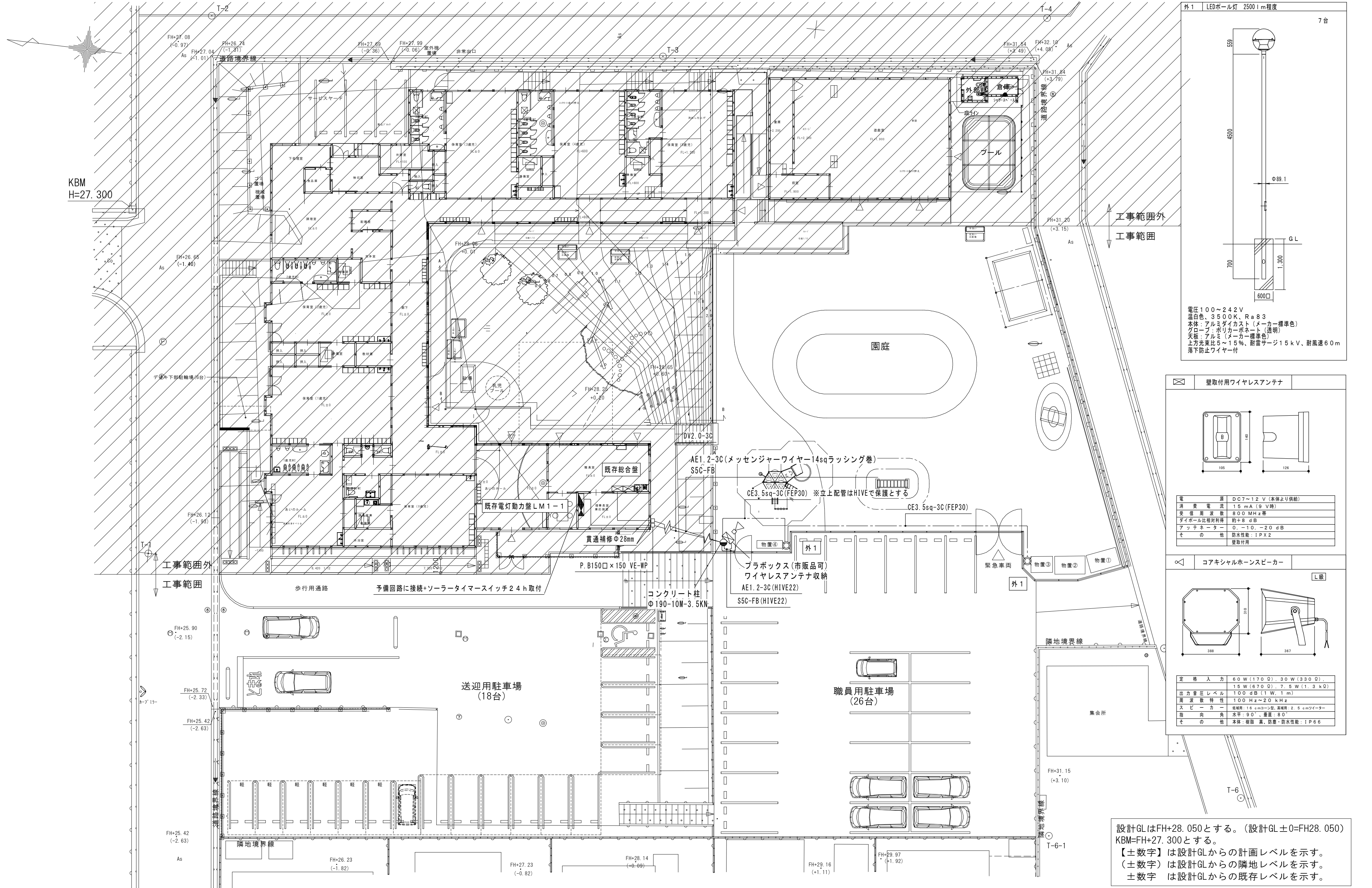
機 材 名	指 定 品	機 材 名	指 定 品	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名				
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気 （株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）						
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業システム T O A（株） ﾊﾞﾅﾈｯｸｺﾈｸﾄ（株）						
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機 （株） （株）安川電機	盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 キュービクル式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設 （株） 上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの						
配線器具類	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝インフラシステムズ*（株） 日 新 電 機 （株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機 （株） （株）明 電 舎	太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝インフラシステムズ*（株） パナソニック（株）						
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝インフラシステムズ*（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝インフラシステムズ*（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎						
電磁接触器 JIS C 8201-1, JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機 （株）								
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝インフラシステムズ*（株） ニ チ コ ン （株） 日 新 電 機 （株） 三 菱 電 機 （株） ※ 1 モールドコンデンサに限る ※ 1								
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	J I S マーク表示品			高圧用変圧器	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク （株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株）※ 2 （株）東 光 高 岳 東芝インフラシステムズ*（株） 日 新 電 機 （株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機 （株） （株）明 電 舎 ※ 2 モールド変圧器に限る ※ 2								
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの												
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの												
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの												
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの												
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの												
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの												
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの												
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの												
構内交換装置	（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品												

電気設備機材指定表

工 事 名

あいの保育園外構工事

E-02



外1 LEDポール灯 2500lm程度

7台

電圧100~242V
温白色、3500K、Ra83
本体：アルミダイカスト（メーカー標準色）
グローブ：ポリカーボネート（透明）
天板：アルミ（メーカー標準色）
上方光束比5~15%、耐雷サージ15kV、耐風速60m
落下防止ワイヤー付

壁取付用ワイヤレスアンテナ

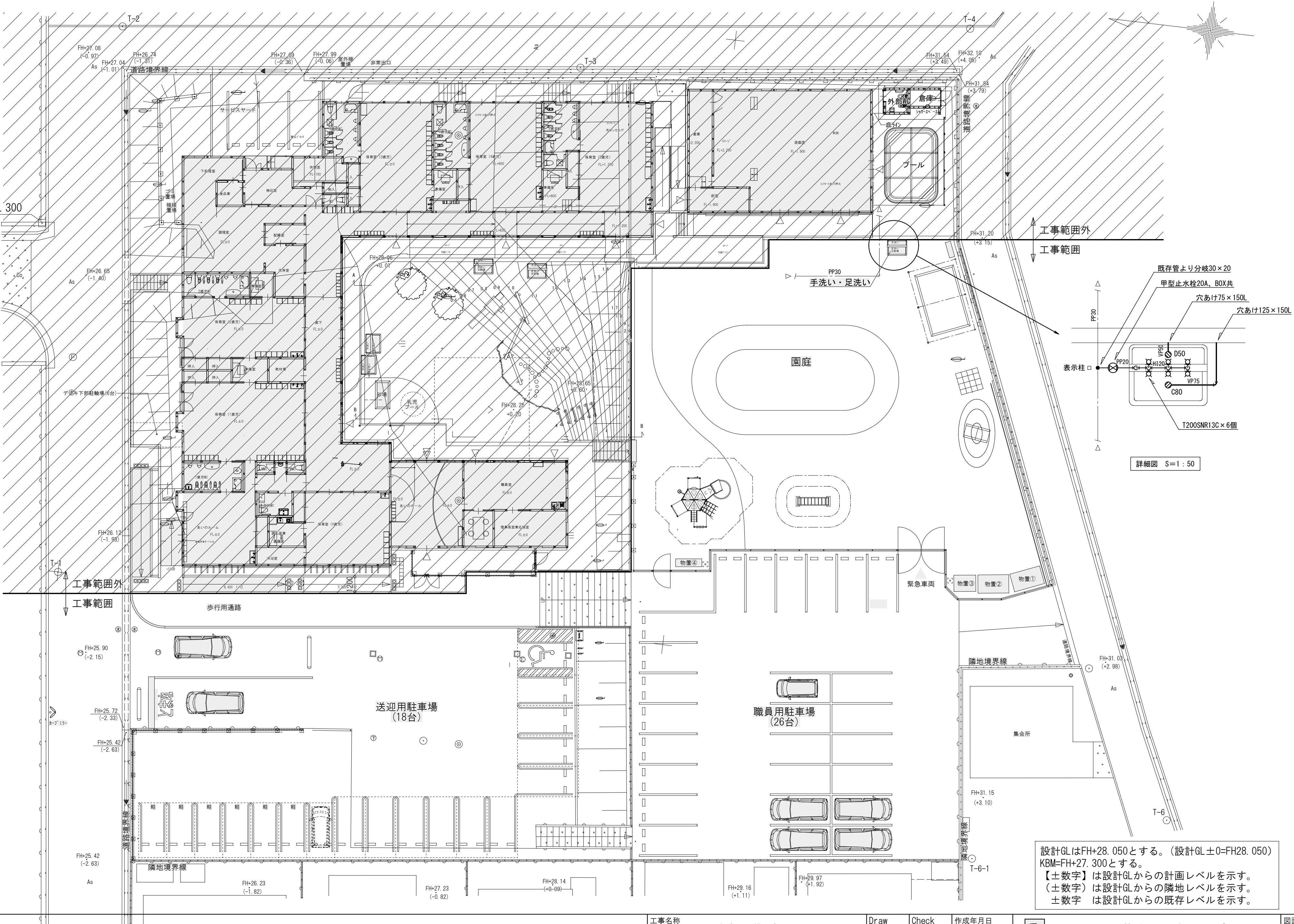
電 源 DC7~12V（本体より供給）
消 費 電 流 15mA（9V時）
受 信 周 波 数 800MHz帯
ダイナミック比相対利得 約+8dB
ア ッ テ ー ナ ー 0、-10、-20dB
そ の 他 防水性能：IPX2
壁取付用

コアキシャルホーンスピーカー

定 格 入 力 60W（170Ω）、30W（330Ω）、
15W（670Ω）、7.5W（1.3kΩ）
出 力 音 圧 レベル 100dB（1W、1m）
周 波 数 特 性 100Hz~20kHz
ス ピ ー カ ー 仕様：15cmコーン型、両面：2.5cmワイヤー
指 向 角 水平：90°、垂直：80°
そ の 他 本体：樹脂、黒、防塵・防水性能：IP66

設計GLはFH+28.050とする。（設計GL±0=FH28.050）
KBM=FH+27.300とする。
【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。
（±数字）は設計GLからの隣地レベルを示す。
±数字 は設計GLからの既存レベルを示す。

工事名称 あいの保育園外構工事	図面名称 施設計画図	Draw	Check	作成年月日 2026/08/05	株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-03
				縮 尺 S=1:200		



設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0=FH28.050)
KBM= FH+27.300とする。
【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。
（±数字）は設計GLからの隣地レベルを示す。
±数字 は設計GLからの既存レベルを示す。

	工事名称	Draw	Check	作成年月日 2026/08/05		株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称						
	あいの保育園外構工事						
	機械設備図			縮 尺 S=1:200		開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	M-01